



L U D I A

<報道関係者各位>

2016年10月14日  
株式会社ルディア

イルジィ・ビー シリーズ

【スキンケアの概念を覆すサイエンスコスメブランドI'LG-b SERIES】

ハースト ビューティー フェスティバル

美の祭典「HEARST BEAUTY FESTIVAL 2016」に協賛

世界初のエイジングケア成分「ILG」配合の “サイエンスコスメブランド”として体験会も実施

<http://www.ilg-b.com/>

サイエンスコスメブランド「I'LG-b SERIES (イルジィ・ビー シリーズ)」を展開する株式会社ルディア (所在地：東京都渋谷区、代表取締役：横川光、以下、「ルディア」) は、2016年10月10日(月)に虎ノ門ヒルズフォーラムで開催された「HEARST BEAUTY FESTIVAL 2016 (ハースト ビューティー フェスティバル)」に協賛致しました。



「ハースト ビューティー フェスティバル 2016」は、ハースト婦人画報社の持つファッション・ライフスタイルメディア 19 媒体と、20 社以上の美容関連ブランドが集結し、来場者が自分自身の美を探求できるイベントです。当日は、著名人とのトークショーやメイクアップショーなど、いま注目のビューティコンテンツを様々な切り口で紹介し、多くの方にご来場いただきました。

本イベントの協賛社として、ルディアでは『I'LG-b SERIES (イルジィ・ビー シリーズ)』横川社長による協賛ステージでのトークショー、出展ブースでは、ハッシュタグ「#恵比寿 ILG」の SNS キャンペーンを行い、ブランドの世界観を伝えるプロモーションを実施いたしました。世界初のエイジングケア成分「ILG」に興味を持って下さった方々に多数お越しいただき、こすらず落とすクレンジングの体験、その他 I'LG-b SERIES 全商品のタッチアップ体験で賑わいました。

今後『I'LG-b SERIES (イルジィ・ビーシリーズ)』は、百貨店へのポップアップストア出店に注力することで、お客様とのタッチポイントを増やしていきます。科学的なアプローチで肌トラブルを解消する“サイエンスコスメブランド”として、より多くのお客様にご愛用いただけるよう、様々な取り組みを行って参ります。

【ブースの様子①】

【ブースの様子②】

【クレンジング体験の様子】





L U D I A

【協賛ステージの様子①】



【協賛ステージの様子②】



■「HEARST BEAUTY FESTIVAL 2016 (ハースト ビューティ フェスティバル)」

日時：2016年10月10日(月・祝) 12:00~19:30

会場：虎ノ門ヒルズフォーラム 4・5階

主催：ハースト婦人画報社

URL：<http://beautyfestival.hearst.co.jp/>



■I'LG-b SERIES (イルジィ・ビーシリーズ)

I'LG-b SERIESは、国立香川大学の掛川教授が9年の歳月をかけ製品化されたエイジングケア成分「ILG」を世界で初めて配合した化粧品です。ILG成分は分子量「256」というこれまでにない超低分子の成分であり、化粧品としては極めて稀な文部科学省所轄の独立行政法人【科学技術振興機構】JST

(Japan Science and Technology Agency) より2度の助成金を受け製品化されたサイエンスコスメブランドです。



■株式会社 LUDIA (ルディア) 概要

- 会社名：株式会社 ルディア
- 代表者：代表取締役 横川 光
- 所在地：〒141-0021 東京都渋谷区恵比寿4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー 2F
- 設立：2006年3月
- 事業内容：化粧品企画販売業
- 資本金：1,000万円
- URL：[www.ilg-b.com/](http://www.ilg-b.com/)

株式会社ルディアは、サイエンスコスメのパイオニアとして、高級外資系化粧品輸入販売会社として年に創立以来、世の女性の肌悩みを解決すべく、オリジナル化粧品の開発・販売に取り組んでいます。

2012年8月に、国立大学法人香川大学工学部・掛川寿夫教授(薬学博士)の協力のもと、企画・開発をした「I'LG-b コンセントレートシリーズ」は、同教授が9年の歳月をかけて開発した甘草に僅かに含まれる次世代成分「ILG」を配合していることが特長です。成分名を冠した本シリーズは、科学的なアプローチから、肌トラブル改善やアンチエイジングを促すシリーズとして、百貨店での催事販売を2014年より行い7日間で300万という販売力も評価を頂いております。今後はより多くの女性に御使用いただけるよう「サイエンスコスメブランド」として市場を牽引いたします。